

あべちゃん通信



令和2年秋号

発行者 福岡県議会議員 安部 弘彦

No.3

ごあいさつ

今年は年初より、世界的な新型コロナウイルス感染症により、私たちの日常生活にも大きな影響が出ています。不幸にも感染され亡くなられた方々には、心よりお悔みを申し上げますと共に、今も入院中の方や退院されても不自由な生活を送っておられる皆様方にお見舞いを申し上げます。

福岡県議会議員として、2年目を迎えその重みを更に感じ『やりがい』を実感する毎日でもあります。これからも全力で活動して参りますので、今後とも引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

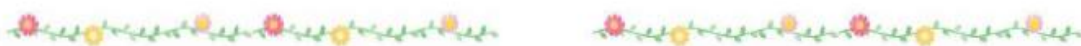
今回は、6月定例会・9月定例会の議会関連情報や会派（緑友会）での視察、国への要望活動や地域の皆さんからの要望に対応できたこと等を掲載しています。

「県議会だより」より

【県議会定例会の概要】

「あべちゃん通信 No.2」以降の県議会は、4月の「臨時会」、6月と9月の「定例会」の合計3回でした。

- ◆ 4月「臨時会」：新型コロナウイルス感染拡大防止と医療提供体制の強化、事業継続の支援及び地域経済の回復と社会構造の変更に必要な経費を審議し、賛成多数で議決されました。
- ◆ 6月「定例会」：新型コロナウイルス感染症対策、日田彦山線の復旧問題、教育問題及び警察問題などの議論が行われ、議案16件について原案のとおり可決・同意されました。
- ◆ 9月「定例会」：9月議会では「食」という観点から、特に社会の宝である子どもたちの「子ども食堂」を取り上げ知事の取り組みを質しました。



社会における企業の活動には「コンプライアンス」が求められます。平たく言えば、「法律さえ守っていれば何をしてもよい」ということではなく、市民レベルの常識に基づき、皆が納得できる判断基準で考え、そして行動することです。

同様に議員には「明確な説明責任」が求められることを私は強く認識し、日々「襟を正し」行動していく所存です。

6月 定例会

6月5日～6月24日までの20日間、「補正予算」に関する審議が行われました。

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として、「生活福祉資金貸付、緊急雇用対策などの生活労働費（186億円）をはじめとした総額214億円の補正予算を編成しました。また追加補正として、「医療供給体制の強化と感染防止対策」（735億円）」および「事業継続支援」（696億円）など、総額1446億円の補正予算を可決しました。

【一般質問】6月15日、「一般質問」をしました。質問の概要及び県知事の回答は以下のとおりです。

Q 「感染症対策の機能を備えた省エネ設備について」質問概要

コロナウイルス感染症への対応を継続しながらも、エネルギーの消費者としての省エネ対策は重要であり、ウイルス滅菌効果のあるLED照明の導入などが出来れば、一石二鳥との観点から、①昭和56年11月に完成した現在の県庁について、省エネ対策として、これまでどのような設備更新を行ってきたのか、また②感染症対策の機能を備えた省エネ設備の導入について、どのように考えているのかを質しました。

A 県知事の回答概要

ロビーや執務室、トイレにおいて消費電力量の少ないLED照明等に更新するとともに、特に、トイレには人感センサーを設置し、便器を節水型、手洗器をセンサー付器具、また24時間業務を行う場所においては、消費電力量を抑える高効率空調機に更新するなど、省エネ対策として、照明、給排水及び空調の設備更新を行ってきました。感染症対策を備えた設備に関しては、安全性の立証という問題があり、現段階での導入は難しいと考えており、今後の開発状況、安全性の検証状況を注視して参ります。

Q 「県内企業によるLED等応用製品の開発支援について」質問概要

人や動物の皮膚や目に安全でありながら、紫外線本来の殺菌、ウイルスの不活化能力を保持した、新しい殺菌用光源やLEDは、今後活用の幅が大きく広がって行くものと期待されるとの観点から、県が県内企業によるLED等応用製品の開発を支援し、省エネや感染症対策ができれば県内産業の振興にもつながり、有効だと考えるが見解はいかがかと質しました。

A 県知事の回答概要

現在、殺菌作用がある深紫外線LEDなど、新たな光源が注目されており、照明器具以外の用途への広がりも期待されているので、今後、企業の要請に応じ、これらの製品開発についても、機械電子研究所の設備や技術を活用して、その支援を行って参ります。



9月 定例会

9月10日に招集され、10月14日までの35日間、「補正予算」に関する審議が行われました。今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として、「生活困窮者の支援」（189億円）を中心とした「医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底」（376億円）をはじめとした総額637億円の補正予算を編成しました。また、追加補正として、「高齢者等のインフルエンザワクチンの無償化」（19億円）など、総額42億円の補正を、更に、「医療供給体制の強化」（514億円）および「失業等により収入が減収した世帯への支援」（130億円）の総額644億円の補正予算を可決しました。

【決算特別委員会】『緑友会』の委員として、質問をしました。質問の概要及び回答は次項のとおりです。

Q 「衛生検査所における遺伝子関連・染色体検査の精度管理について」質問概要

10月2日 遺伝子関連・染色体（医療）の分野では、PCR検査が非常に難しいことは理解しているものの、新型コロナウイルス感染症に関連し、その精度管理について昨年の決算特別委員会でも質問しています。県は、「精度管理専門委員」（10名）の意見を踏まえ、内部精度管理が確実にされているかなど、10月末を目途に完了するとの回答を頂いているが、状況はいかがですかと質しました。

A 担当課の回答概要

新型コロナウイルス感染症のPCR検査に関しては、県内7か所の衛生検査所において行われています。遺伝子関連・染色体検査を行う衛生検査所に対する立ち入り検査については、遺伝子関連・染色体検査に係る責任者の配置、当該衛生検査所以外の検査機関と検体を相互に確認を行うクロスチェックの実施状況など、すべて適正に実施されていることを確認できました。衛生検査所における検体検査は、その後の適切な診断や治療に不可欠ですので、引き続きその品質や精度が十分に確保されるよう努めて参ります。

Q 「子ども食堂について」質問概要

10月5日 子ども食堂に対する認識を確認すると共に、「来てほしい家庭の子どもや親に来てもらえない」、「運営費の確保が難しい」などの子ども食堂の抱える問題と子ども食堂の運営状況、内閣府や農林水産省が推進している「子どもの居場所づくり」や「食育」と子ども食堂の関連、更には、「子どもの居場所」や「食育」という観点から、高齢者や市民を含めた「共食」の場としての「子ども食堂」についての認識、更には、県の地域格差をなくすための知事としてのリーダーシップを質しました。

A 担当課の回答概要

県内には「174」の子ども食堂があり、運営方法や抱える課題もさまざまであるものの、子どもの貧困対策を推進してゆく中で、困難を抱える子ども達への支援につながる子どもの居場所として、重要な役割を担っていると認識しています。また、高齢者や地域住民など様々な世代がかかわることは、交流の場として期待されています。まずは、県内の子ども食堂の取り組み状況の把握に務めるとともに、市町村や各団体の方々と話し合い、子ども食堂の活動が継続的に進められるために必要な取り組みを検討して参ります。



Q 「空き家の利活用の促進について」質問概要

10月6日 老朽空き家の発生を抑制し、使える空き家は使ってゆくことが重要であるとの観点から、①「福岡県版空き家バンク」の実態の確認 ②お年寄りが集うサロンや災害時の避難場所としても利用できるといった使い方 ③「町屋風」の空き家を改修して観光資源やイベント会場としての利用などといった新たな考え方 ④地域活性化につながるような空き家の活用事例・所有者の相続問題 ⑤家具や荷物の処分などの相談に応じる「空き家活用サポートセンター」について質しました。

A 担当課の回答概要

周辺環境に悪影響を及ぼす、所謂「特定空き家」に対しては、しっかり「助言・指導」「勧告」「命令」「行政代執行」「略式代執行」が適切に行われております。県は、空き家を地元住民の交流の起点として再生し、カフェやイベント会場、福祉事業の拠点として再生するなどの取り組みを実施し、パンフレットなどにまとめております。

また、10月20日から開設の「空き家活用サポートセンター」において、専門知識を持った相談員が、空き家所有者の相談に応じ、その活用・処分など具体的な提案、更には専門業者とのマッチングまでをワンストップで行って参ります。



県や地域での活動

新型コロナの影響で卒業式や入学式、運動会をはじめ、砂像展やコスモス祭などへの出席機会も減少しました。そのため地域との交流も減少しましたが、草刈りやエール飯などへの参加で、皆様からの意見を聞いて色々なことが改善され実現しています！



7月17日
国道3号線岡垣バイパス4車線化早期完成について
福岡県(県土整備部)・国土交通相九州整備局へ、
第5回目の要望活動



6月20日
芦屋町観光レンタサイクル
視察



7月21日
戸切川改修期成同盟会役員会
本年度より、JR鹿児島本線下の河川パイパス
BOX工事に着手



8月29日
少年の主張 福岡大会
～いま中学生が訴えたいこと～



7月29・30日
緑友会で、令和2年7月梅雨前線豪雨で被災した
久留米市と大牟田市の現地調査・視察



5月10日
水巻町でそら豆の収穫と
出荷のお手伝い



6月6日
矢矧川に架かる小豆橋の更新。
聖道旗の移動と奉納銘板が新たに設置！



7月17日
国民平和行進



9月8日
台風10号の爪痕
倒木で通れなくなった町道も
直ぐに対応



10月21日
岡垣町
海老津・源十郎線
通学路グリーンベルト化

皆様のご意見をお聞かせください！

住所：遠賀郡岡垣町中央台5丁目1-25
電話：093-701-6600 FAX：093-701-6610
HP：<http://abechan.buf.jp>
✉：abechan@buf.jp



最後までお読みいただきありがとうございました。
引き続き皆様方のために頑張りますので、ご支援・
ご協力よろしくお願い申し上げます。

12月定例会は12月1日(火)～18日(金)
今回は、12月8日に初めて緑友会を代表して、
「代表質問」に立ちます！
議会傍聴に来てください。ネットでも中継されます
ので是非！(^o^)/